

旧華頂宮邸暫定活用運営会議ニュース vol. 1

旧華頂宮邸暫定活用運営会議 平成 26 年 3 月 発行

平成 25 年 9 月に旧華頂宮邸暫定活用運営会議を設立し、検討を進めています！

運営会議は活用検討経過の継続性を保ち、効率的な運営を図るため、活用検討協議会の委員で、引き続き検討を進めています。さらなる実験活用の実施、検証を行い、本格的な活用体制づくりを目指しています。これまでに 3 回の会議(9 月 10 日、10 月 10 日、1 月 11 日)が行われ、毎回活発な意見交換を行っています。

旧華頂宮邸暫定活用運営会議について

旧華頂宮邸暫定活用運営会議は、平成 24 年 3 月に旧華頂宮邸活用検討協議会から市長に提出された『旧華頂宮邸保全活用に向けた「提言」』を受け、この提言に示された実験活用を継続的に行うことを目的に設置されたものです。



イラスト m、ITO

これまでの会議の内容

第 1 回 委嘱式・旧華頂宮邸暫定活用運営会議の進め方について (9 月 10 日)

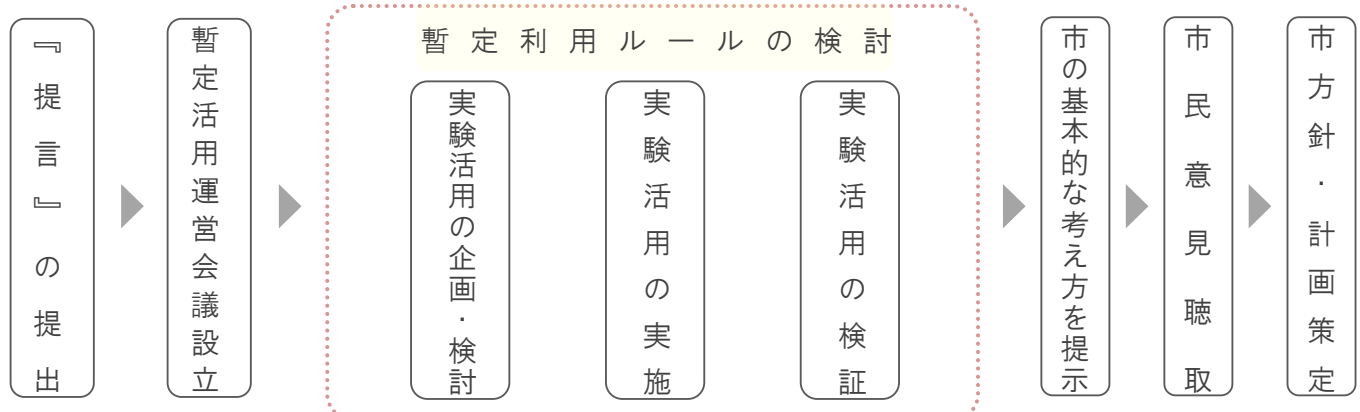
市長からの委嘱状交付後、互選によって議長(水沼委員)、副議長(齋藤委員)が選出されました。旧華頂宮邸活用検討協議会の検討経過や旧華頂宮邸暫定活用運営会議のスケジュールや方向性について共通の認識を確認しました。また、今後の実験活用について、どういった活用類型のものを実験活用で行えばよいかなどの整理が行われました。

第 2 回 実験活用・暫定利用ルールについて (10 月 10 日)

本格的な活用に向け、活用類型ごとに暫定利用ルールの検討を行いました。手始めに、現在行っている施設の撮影貸出についての現状の整理や既に実施済みの野外講座系の暫定利用ルールの検討を行いました。また、今年度予定している実験活用「レクリエーション系」と「野外講座系」の企画について検討を行いました。

- 「野外講座系」・・・地元宅間ボランティアの会主催によるまち歩きイベント
- 「レクリエーション系」・・・地元町内会子ども会主催によるハロウィーンイベント

今後の予定



実験活用

実験活用「野外講座系」 『旧華頂宮邸と宅間ヶ谷をめぐる冒険』

平成 25 年 11 月 24 日に第 2 小学校・第 2 中学校に通う生徒とその保護者を対象に、旧華頂宮邸と宅間ヶ谷、その周辺のハイキング・コースを探検し、地元の歴史・文化・自然に親しみ理解することを目的に実施しました。地元のボランティア団体「宅間ボランティアの会」主催、かっぱの会（第二小学校の保護者の会）の協力で行われました。当日は天気にも恵まれ、39 名の参加者が集まりました。

○講座の感想

- ・田楽士子など知らないところがたくさんあり、楽しめた。
- ・旧華頂宮邸の中から見た外の景色がきれいだった。
- ・普段疑問に思っていたことの説明が楽しかった。
- ・石切り場跡など鎌倉の少し前の話などに触れられた。

○課題など

- ・参加人数に限りがあり、募集人数を上回る応募があった場合の対応が課題となる。
- ・雨の日は、傘などの雨具の対応が必要。



イベントの様子

実験活用「レクリエーション系」 『浄明寺町内会子ども会（ハロウィーン）』

平成 25 年 10 月 26 日に地元町内会子ども会の主催で、地元町内会の小学生以下の子供たちとその保護者を対象に、「異文化交流活動（ハロウィーン）」の一環として、旧華頂宮邸と宅間ヶ谷の魅力や価値を広く伝えることを目的に実施を予定していました。当日は台風に見舞われ、中止となりました。

○今後の検討事項

- ・中止決定を決めるタイミングの検討
- ・当日の天気により、中止せざるを得ない場合の順延日の検討

第3回 実験活用・暫定利用ルールについて（1月11日）

旧華頂宮邸の実験活用を踏まえ、今後の課題などについて検討を行いました。

本格的な活用に向け、活用事例を基に野外講座系及びレクリエーション系、会場利用系の暫定利用ルールの検討を行いました。

旧華頂宮邸コラム

「旧華頂宮邸コラム」では、旧華頂宮邸の魅力をより多くの方に知っていただくために、旧華頂宮邸やその周辺の宅間ヶ谷について紹介していきます。今回は宅間ヶ谷に残る昔話である「宅間猫」についてです。

「宅間猫」

室町時代の中頃のこと、小田原城主の侍女が宅間の別荘で飼っていた猫が化け猫になって、近くの村々に出ては里の人たちを驚かしていました。そして、ついには子供を食い殺すようになりました。里の人たちは、なんとか捕まえようとしましたが、なかなか捕まらず、弓の名手や剣の達人にも頼んでみましたが、それでも捕まえることができませんでした。里の人たちは万策尽きてほとほと困り果てていた時、当時の報国寺住職であった陽谷乾幢和尚が山に向かって一喝したところ、丁度その日に宅間の谷に入っていた一人の樵きこりが、崖下で熊のような大猫が死んでいるを見つけました。それではじめて、里の人たちは和尚の先ほどの一喝が効験を表したことを知り、和尚の徳を大いにほめたたえたという話です。

次回の旧華頂宮邸コラムもお楽しみに♪